

あじかわぐちこ

富士にとどけ!

西浜小中学校体育館落成式
中学生による双龍太鼓演奏

- こういうことを決めました 2～3P
- 代表・関連質問 4～9P
- 一般質問 10～13P
- 委員会レポート 14～19P
- 窓・編集後記 20P

こういうことを
決めました!



船津小学校グラウンド

平成22年第4回定例会は12月13日に開
会され、会期を21日までの9日間と決め
て審議を行った。

町道の路線認定1件、平成22年度一般
会計補正予算、16の特別会計補正予算に
ついては、それぞれ所管する常任委員会
に審議が付託された。最終日21日の本会
議で委員長から委員会での審議内容の報
告があった。

補正予算のうち、職員の給与の減額改
定を含む13案件については、反対1人、
賛成16人の賛成多数で可決された。

12月定例会では、精進・本栖・富士ヶ
嶺地区が対象の「富士河口湖町過疎地域
自立促進計画」が議題となり、担当課長
の詳細な説明を受け、全員賛成で原案ど
おり可決された。

「過疎地域自立促進計画」とは、国の
法律で指定された過疎地域内で町の事業
を行うとき、過疎債という有利な借入金
が使える基となる計画である。

「教育予算を拡充し、教育の機会均等
及び水準の維持向上を図るための請願」
も採択され、総理大臣、文部科学大臣、
財務大臣あてに意見書を送付した。

3会派の代表質問と 平成22年第4回定例会 4人の一般質問

●条例の一部改正（主なもの）

- ・富士河口湖町国民健康保険税条例の一部改正例
（失業者に対しては前年度所得の3割に対して課税する）
- ・富士河口湖町立学校施設使用料条例の一部改正
（船津小学校運動場の夜間利用者からの使用料の徴収）
- ・富士河口湖町都市公園条例の一部改正
（都市公園内に犬等の家畜の同行を禁止した項目の削除）

●承認・同意案件

- ・富士河口湖町過疎地域自立促進計画
- ・勝山中学校普通教室増設工事請負契約締結（請負金額5千880万円）
- ・富士河口湖町教育委員会委員任命の同意
本栖 伊藤正一氏（再任）

一般会計補正予算

総額2千815万2千円の減額補正

一般会計補正予算

一般会計補正予算は、総額2千815万2千円の減額補正で、国・県の補助金の確定、町の事業の事業費の確定と、それに伴う借入金の減額、職員の給与改定による人件費の減額などである。

増額補正は、町民生活に直接関係する身近なものが大きな比重を占めている。



小立土地区画整理事業

減額となった主なもの

- ・長崎山さくらの里公園整備のための借入金 2千50万円
- ・土地区画整理事業の借入金 5千510万円
- ・土木関係工事入札差金 500万円
- ・富士五湖広域行政事務組合消防特別負担金 1千571万8千円 など

増額された主なもの

- ・自立支援事業費の人工透析費 700万円
- ・私立保育所運営費 460万円
- ・日本脳炎予防接種委託料1千150万円
- ・富士ヶ嶺地区で県営で行われている畑地帯総合整備事業の負担金 2千500万円 など

特別会計補正予算

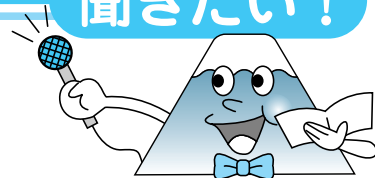
特別会計の補正は16件。主なものは次のとおり。

- ・平成22年度富士河口湖町老人保健特別会計補正予算（第2号）967万5千円の増額補正
- ・平成22年度富士河口湖町介護保険特別会計補正予算（第3号）5千957万3千円の増額補正
- ・平成22年度上九一色簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）2億4千737万円の増額補正

臨時議会

第6回臨時会は、11月29日に開会され、人事院勧告に伴う職員の給与改定と、上九一色地区地域情報通信基盤整備工事費を945万円増額する変更契約が審議され、給与改正の条例には1人の反対があったが、2案件とも原案のとおり可決された。

知りたい！
聞きたい！



富陽の会

だいひょう・かんれん
代表・関連質問

Q1 自治基本条例の 制定実現を問う

質問 10年、20年後を見据えた財政計画書の全戸配布の公約も実現されていない。財政計画について公約としての町長の考えを聞く。

町長 平成23年度から自治基本条例の策定に向け取り組む。町の将来像を描き、町民にわかりやすい財政計画書を作成し、全戸配布をとの思いがある。国の経済は深刻な状況にあるが、予測可能な限り中期的財政見通しの資料作成に取り組む。

再質問 財政計画書は予算説明書とは全く違うもの。10年、20年先のこの町の財政をどうしていくんだというところが財政計画書だと考える。再度この財政計画書について町長の答弁を求める。

町長 自治基本条例、財政計画書への取り組みに、残された期間鋭意努力する。



富陽の会 代表質問者
渡辺 喜久男 議員



小川 清治 議員

関連質問 (小川清治) 財政計画は1年ないし2年で区切った実施計画書、行動計画書が必要になるが、作成についてどう考えているか。

町長 行動計画書は公表してはいないが、現在の町の情勢、県・国の情勢を把握し、町に何が一番重要であるかを選択し取り組む。

町民プール・いやしの里の運営状況を問う Q2

質問 現在、指定管理者制度の下で運営管理されている町民プール、そのものがなかったほうがよかったのか、あつてよかったのか。直営、指定管理者のどちらがよかったのか。また、委託民営ではなく直営に切りかえた「いやしの里」の導入後半年間の成果はどうか。

町長 当初、町民プールの運営は直営か指定管理者が大変苦慮をした。指定管理に踏み切ったことは、現況では正しかったと判断している。

観光課長 新体制での9月までの半年間の利用状況は、入場者は対前年比が0.8%、1千200人減の13万4千300人、入館料収入は、4月の料金改定と駐車料無料化が背景にあり両方を合わせた数字で、対前年比で656万円の増額となった。この増額は、入館料改定によるものと思われる。



堀内 昭登 議員

関連質問 (堀内昭登) 西湖のいやしの里は、12月1日から定休日と朝夕の時間短縮が実施されているが、県内外の業者に告知したか。

観光課長 営業時間の変更、定休日は当町にデータがある約1千近くの旅行会社には告知した。町の観光施設の中では一番だと思っているので、情報の周知はしているつもりである。

湖南中学校の耐震化計画を問う Q3



湖南中学校

質問 合併特例債の相対する湖南中学校の耐震化計画は、合併協議の新町の建設計画に当初から入っていたか。

政策局長 県市町村課によると、一部事務組合への負担金に係る事業も、建設計画の中の学校整備事業で読めるものであるとの回答を得ている。また、建設計画に掲載した項目で読める事業であれば、建設計画を変更して個別事業を追加する必要はないとの市町村課の見解が示されている。今後は定期的に地域審議会を開催し、意見を伺う必要があると考える。

扶養控除の廃止の救済措置を問う Q4

質問 政府は本年度の税制改正で扶養控除の廃止を決めたが、控除の減少は税金のアップにつながり、各種の公共サービスの負担金が大幅に増える。救済措置として補助金の拠出等、対応策定の考えがあるか。

福祉推進課長 保育料は平成24年4月以降に入所する児童の階層決定に、扶養控除廃止の影響が出る。今後の国や県による対応の情報をいち早く把握し、他の市町村の対応も参考に、適切に対応したい。

都市整備課長 公営住宅法施行令の一部が改定され来年1月1日から施

行するが、現行の家賃とはほぼ変わらない金額となる。

健康増進課長 介護保険料は、扶養控除がなくなると保険料が上がる場合も考えられる。国や県が考えを示していないので、町は今後の動向を見ながら対応策を考える。

再質問 扶養控除、配偶者控除廃止で非課税世帯が課税世帯になり、行政サービスを受けるときに負担金を相当取られるという状態が町には何件ぐらいあるか。

総務課長 今の時点では調査をしていない。

Q5 地上デジタル放送への補助制度を

質問 テレビが地上デジタル放送に切りかわるが、切りかえ費用に対する町独自の補助制度の創設が必要ではないか。火災報知器の設置義務化に対する補助施策は。

企画課長 NHK放送受信料が全額免除の世帯及び非課税世帯に対して、町は専用チューナーを無償で現物支給を行っている。町民は国の支援制度を積極的に活用していただきたい。

管理課長 個人が私生活を営む住宅の防火は、基本的には個人が責任を負うことが重要である。今後の課題としたい。

関連質問 (倉沢鶴義) 上九一色地区の情報通信基盤整備事業で500世帯にCATVのケーブルを引いているが、それについての啓蒙運動をどのようにしているか。

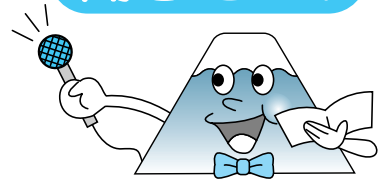
企画課長 CATVに上九一色の出張所の一室を提供し、相談事業を行う。全戸加入を目指し訪問をしてセールスをしている。



倉沢 鶴義
議員

代表・関連質問
だいひょう・かんれん

知りたい！
聞きたい！



町の経済振興策を問う Q1

町長 観光振興として、冬期における新しいイベント、4月の集客アツプを目的とした桜のイベントを計画している。雇用創出は、複合商業施設に約200人の雇用が見込まれる。

観光振興新イベントの計画および商業施設での雇用拡充を図る。

質問 本年度予算に対し町長は「福祉・教育・環境」を重要施策として位置づけているが来年度の予算編成に向けて経済振興策・景気対策をどのように考えているか？



清友クラブ代表質問者
渡辺 洋 議員

清友クラブ

だいひょう・かんれん
代表・関連質問



冬花火

急傾斜地の防災対策を問う Q3

農林課長 町では、県の富士・東部林務環境事務所と協力し危険箇所等の山地災害パトロールを実施している。都市整備課や県と協議し、その対応を併せて検討したい。

その危険性を再度調査し、対策を検討する。

質問 「急傾斜地崩壊危険地域」に指定されている大石地区の中沢亀甲台別荘地では、いつ裏山の大岩が崩れてもおかしくない状況になっている。対応策は？

Q2 入札方法と景気対策用 公共工事のあり方を問う

質問 町長は、3年前の選挙マニフェストの中で「工事発注は地元の業者を採用する」と明言している。地元業者優先の工事発注をマニフェストどおりに実行できているか？

広く町内事業者に対して受注機会の拡大を図ってきた。

町長 町の方針として、町内企業の育成や地域経済の活性化を図るために、町内業者の受注機会の増大に努めていくことを基本としてきた。今後もこの方針は継続する。

Q4 基幹道路整備 事業計画の 進捗状況は

質問 町村合併以降、基幹道路整備事業が計画・実行され町道東海自然歩道線、東西線の2路線が計画されている。その整備計画及びその進捗状況は？

現在計画どおり執行中だが、東西線は再検討の必要もある。

都市整備課長 東西線については、今後世界遺産登録や住宅事情及び今後の経済効果をにらみながら、再検討する必要があると考えている。

Q5

国の補助金を活用しての船津登山道電線地中化計画を問う



船津登山道線

質問 国の補助金制度の一つに観光地での電線地中化を支援するものがある。町は、観光地の景観整備として、船津登山道の電線地中化は計画しているのか？

電線地中化は、莫大な予算が必要となるため、現在保留である。

都市整備課長 今後、電線の地中化ではなく、観光地の景観整備事業としての別の方法が可能かなど、関係機関との協議を進めていきたい。

Q6

観光立町 関連質問

「富士河口湖振興策」を問う



井出 総一 議員

質問 町長は、「福祉・教育・環境」を重要施策として位置づけているが、どうして「観光」をいれてないのか？

「観光」施策が重要なのは当然のことだ。

町長 言葉としてあえて「観光」と言わなかったということは、観光に力を入れないということではなく、当然のことだという意味合いが私の中には存在していた。

Q7

関連質問

国・県の事業ではない町独自の公共事業を



梶原 義美 議員

質問 我が町独自で経済対策補正予算を編成し、町独自の公共事業をするつもりは？

新年度予算編成のなかで検討したい。

町長 現在の財政状況では、町独自の経済対策補正予算の考え方は持ち得ない状況である。これから新年度の予算編成のなかで取り組んでいく。

Q8

関連質問

笛吹市との災害協定締結を



駒谷 隆利 議員

質問 旧河口湖町と旧御坂町で災害協定を結んでいたが、2年前から質問している新富士河口湖町と笛吹市と災害協定はどくなっているのか？

新年度に笛吹市と意見交換をする。

町長 現在そういった災害協定は結んでいない。私の取り組みが手抜きであり、取り組むことを率直に認め、新年度に向けて笛吹市長との意見交換をしていく。

だいひょう・かんれん
代表・関連質問



Q1

親樹会

だいひょう・かんれん
代表・関連質問

平成23年度予算編成の 基本方針を問う

質問 厳しい財政状況に町があることは承知しているが、福祉・教育・環境を軸に渡辺凱保町長カラーを出し、一層の住民目標のまちづくりの実現のため、23年度予算編成に当たり、町政への思いと予算編成の基本方針を問う。

総務課長 身の丈にあった財政運営を行うことを基本姿勢とし、限られた財政の中で重点施策、優先すべき事業を見極めて予算編成に当たる。

町長 何と言っても観光の振興により産業の発展、雇用機会の増大や地域経済の発展、活性化が図られると考える。今まで同様観光の振興に鋭意努力する。そんな中富士山一周トレイルラン（当町をスタート・終着点）が計画されており、国内外に当町をアピールしていきたい。また地域住民の自発的な活動が芽生えており、行政としての援助をしていきたい。



親樹会 代表質問者
梶原 武 議員



トレイルラン



外川 正純
議員

関連質問（外川正純） 歳入における自主財源の確保、受益者負担の適正化との観点より、22年度の国民健康保険税の税率が上がったが、平均何%上がったのか。また、このような大きな値上げは前もって周知徹底すべきではないか。

住民課長 21年度及び22年度の税率と比較では、1世帯当たり18.9%、1人当たり17.6%の値上がりとなる。町の広報、納税者に対する納付書にチラシを入れて告知した。

Q2

河口湖南中学校の 早急な校舎改築を

質問 河口湖南中学校の全校生徒数は634人。その内約85%が町内に在住する生徒である。校舎は建設から40年以上経過し老朽化が激しく、組合議会の議員協議会でも改築が意見集約された。一日も早い改築を望むが、考えを聞く。

町長 緊急の重要課題である。一番の問題は財源問題であり、何とか有利な国や県の補助金を得られないかと模索してきた。県と総務省の協議の結果、合併特例債の枠の拡大で27億円が認められた。

建設基金の積立でもない中、ようやく資金的めどが立ち新築の決断をした。生徒の安全・安心を守り、良好な教育環境を整えることを何より優先した。



渡辺 余緒治
議員

関連質問 (渡辺余緒治) ケジュールは。

今後のス

町長 建設工事は平成24年4月から26年4月にかけて行う。



高山 泰治
議員

関連質問 (高山泰治) 平成15年の耐震審査以来7年も経過しており、重要課題として早急な新築を要望する。



精進湖のカヌー大会

代表・関連質問

だいひょう・かんれん

精進湖のカヌーの活用はQ3

質問 町長は公約で、精進湖を日本一のカヌーの湖にし、宿泊施設の活性化を図りたいとしている。カヌーによる地域活性化への町の取り組みと小中学校へのカヌーの指導育成体制をどのように整えていくのか。

教育長 6月の関東高校カヌー選手権、9月の日本カヌーポロ選手権大会、また、平成26年には全国高等学校総合体育大会が開催される。精進湖はカヌーの湖としての知名度を上げることができると確信する。今後は地元での選手育成のため、学校やカヌークラブとの連携を持ちつつ指導体制を充実して行く。



渡辺 元春
議員

関連質問 (渡辺元春) インターハイ他、各種全国大会で選手は、素晴らしい成績を収めている。地元に着したスポーツの指導体制を、強力に進めることを要望する。

その他の質問

- ①旧上九一色村地区における診療所の開設を
- ②インバウンド(外国人観光客)の動向・受け入れを



Q1 世界遺産登録の取組状況を問う

質問 現在の世界遺産取り組み状況は、
企画課長 現在、湖の文化財指定のための同意取得作業を始めており、名勝富士五湖の同意取得状況は64.5%である。今後も引き続き戸別訪問等を行い、粘り強く作業を進めたい。



一般質問者
三浦 康夫 議員



河口湖北岸

Q3 世界遺産関連事業を問う

質問 世界遺産登録後の受け入れ体制として、西湖・長浜地区への親水公園の整備など地域活性化策が必要であると考えますが、今後の方針などを聞く。
企画課長 両地区の親水公園は、新町建設計画に位置づけられている。両地区の課題や背景もあるので、地域の皆様のご意見を参考に進めて行く。



桜公園遊歩道

Q2 河川の官民境界の不確定を問う

質問 河川の官民境界が確定されていない場所について、河川管理は山梨県が所管することだと思いが、町の今後の取り組み方針など聞く。
企画課長 西湖、精進湖、本栖湖、河口湖の官民境界の未確定箇所については、世界遺産の説明会でも要望があった。境界については民間のご理解、ご協力が必要である。県も調査を始めてるといふことで、引き続き解決に向けて山梨県に要請していく。
まちづくり管理官 西湖南岸の境界未確定は、山梨県が本年度から来年度にかけて現状の把握と問題点の洗い出しを行うと聞いている。長浜地区については、同意が得られる箇所より順次確定していく方針と聞いている。

いっしょに
一般質問

Q4 富士ヶ嶺地区の水道加入促進を問う



富士ヶ嶺地区貯水槽工事

富士ヶ嶺地区の水道加入促進を問う

質問 多額の経費を投じ整備した富士ヶ嶺地区の水道の利用促進について方針を聞く。
水道課長 富士ヶ嶺地区の水道は、平成18年度より4年間にわたり約6億5千万円の事業費を投じ、平成22年度に整備が完了している。個人の給水管切り替え工事を推進するために、地区水道運営審議会や富士ヶ嶺地区をも相談する中で進めている。

その他の質問

- ① 住宅用火災警報器の普及促進を問う
- ② ヴァンフォーレ甲府に対する支援を問う
- ③ 国際コンベンションの取組を問う
- ④ 政府の補正予算の取り組みへの対応を問う

プレミアム商品券の再度発行をQ1

質問 当町の景気対策の一環として、再度プレミアム商品券発行の早期実行を望む。

観光課長 昨年発行したプレミアム商品券は、地元小売店の利用率32%、金額4千万円と全国発行事業例の中で最も小型店での利用が高く、実施してよかった。再度発行は、河口湖商工会、河口湖商業振興会等と協議中である。

町長 プレミアム商品券が町民に評価されたことは、一番の喜びである。何とか資金を捻出できれば積極的に取り組みたい。前向きに検討に入りたい。

質問 町の商業振興資金に対する利子補給の補給率及び補給期間の拡大を。

観光課長 平成21年より時限的に補給率50%、期間を3年としている。厳しい景気動向は継続しており、上積み事例もある市町村の状況も考慮し積極的に取り組んでいきたい。



一般質問者
小佐野 快 議員

環境に配慮したQ2 先進観光地の構築のために

質問 全国の有名観光地の多くがEV（電気自動車）導入に取り組んでいる。当町のEV公用車導入はどうか。

管理課長 排気ガスを出さない地球温暖化対策の先導的存在と言える電気自動車を検討していきたい。

町長 道志村、都留市での導入の報道を、本来、当町が先駆けて手がけるべきではないかという気持ちで見えていた。積極的導入に向けて新年度予算の中で検討したい。

質問 EV（電気自動車）の普及には、急速充電施設が必要である。「道の駅道志」に充電スタンドが設置されているが、「道の駅勝山」に設置してはどうか。

管理課長 首都圏から約100キロの当町は、需要が多いことが予想され、必要性を感じる。導入する状況になったら、「道の駅勝山」に設置していく。

その他の質問

- ① ツイッターの導入を来年度から実施できないか
- ② 管内小中学校における学校教育課の支援策は



環境にやさしい
電気自動車

一般質問
いっしょに



細菌性髄膜炎から乳幼児の命を守れ



一般質問者
佐藤 安子 議員

質問 乳幼児の細菌性髄膜炎の原因は、ヒブ菌が6割、肺炎球菌が3割を占める。死亡と後遺症を残す心配があり、ワクチン接種が必要。しかし、ワクチンは一回が8千円から1万円で2つのワクチンを各4回接種しなければならず、非常に高額。乳幼児の命を守るために全額公費助成を。

健康増進課長 12月3日、子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進臨時特例交付金が決定。市町村が実施する子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンの接種事業に対し、国が半額を助成する。国の動きを受け、町は予防に有効なヒブワクチンと小児用肺炎球菌ワクチンのゼロ歳から4歳の乳幼児への接種に公費助成制度導入を前向きに検討している。



女性の健康づくりイベント

Q2

女性特有のがん対策を拡大せよ

質問 山梨県で「子宮頸がんワクチン接種の公費助成制度」が全国に先駆けてスタート。小学校6年生と中学校3年生女子を対象に合計4万5千円の費用を県と町が負担。今回対象外の方への公費助成の拡大を望む。検診の重要性を訴える幅広い啓蒙啓発活動を。乳がん、子宮頸がんの検診無料クーポン券配布事業は、国の補助金が無くなっても来年度も町単独で事業継続を。

健康増進課長 対象者の拡大については、県の方針等さまざまな情報を得た上で、町の方針を出したい。啓発事業として本年度2回の女性の健康づくりイベントを実施したが大変好評だった。次回イベントへの期待の声も多いので、さらに工夫して啓発活動を進めたい。無料クーポン配布事業は、国庫補助事業から外れても町単独事業として平成23年度も実施する予定。

Q3

障害者や高齢者など要援護者の防災対策は

質問 東海地震等、災害発生の危険性が増している。災害時、弱い立場の障害者や高齢者など要援護者への防災対策が重要。県は平成17年にマニュアル作成し、各市町村に地域での取り組みを説明してきたというが、具体的な方法や役割分担、福祉避難所の設置・運営等を定める、わがまちの「災害時要援護者支援マニュアル」は策定されているか。

福祉推進課長 災害時要援護者支援マニュアルは必要であるが、作成が遅れたことは誠に申し訳ない。町では現在、庁内各課、社会福祉協議会とマニュアル作成に向けた協議を重ね、年度内の完成を目指している。今後、関係機関と協議し、福祉避難所を指定し利用できるようにしたい。

いっぴん
一般質問

精神障害の方のデイケアの回数を増やしてQ1

質問 精神障害の症状は、急性期や慢性期の時期などがある。後者の時期にはだるさや集中力の低下などが見られ、外出や日常生活が困難になる場合が多いが、この時期の症状はわかりにくく、まわりに理解されないこともある。そのため、精神障害者が社会的に孤立してしまうことも多い。サービスの充実が求められている。月2回、町で実施しているデイケアは、精神障害者にとって居場所となっている。回数を増やすことも求められているが。

いまの体制では難しい。当面は現状のままです。

福祉推進課長 利用者の方からそのような要望もあるが、参加するのに精神的に大変なので現状でよいという方もいる。質問 だからこそ回数を増やす必要がある。月2回だと、1回参加できないと次は2週間後になってしまう。せめて週1回に増やせ。

福祉推進課長 いまの体制では難しい。当面は現状のままです。



通所サービスを実施している施設

精神障害者もタクシー運賃割引の対象にQ2

質問 精神障害者の多くが、生活も苦しいなか、病院や買い物などに出かける交通費が大きな負担になっている。電車やバス、タクシーなどの運賃の割引制度は、ほとんどが身体、知的障害者のみを対象にしており、精神障害者は対象外である。とくに、タクシー運賃の割引制度の精神障害者への適用を、来年度から実施せよ。

県に要望する。ほかの市町村も見ながら検討する。

福祉推進課長 自立支援協議会を通して、機会あるごとに県に要望していく。また、近隣の市町村の動向も見ながら、検討していく。

一般質問
いっぱん



一般質問者
山下 利夫 議員

Q3

質問 医療費の窓口負担は、70歳以上の方や子どもなどを除けば原則3割である。とりわけ国民年金を主な収入として生活されている方は、月5万円ほどという収入で、3割の窓口負担を払うのは、ほんとうに厳しい。国民健康保険法44条の規定にある、窓口負担の減免制度を当町でも実施するべきではないか。

県の指導のもと、他市町村の動向も見ながら調査・研究する。

住民課長 確かに、著しく収入が激減した場合など、医療費の窓口負担が困難な場合、減免あるいは猶予することができる、という法の規定がある。県の指導のもと、近隣市町村の動向も見ながら調査・研究をすすめる。

そのほかの質問
学校の統廃合問題を問う

町の監査委員に専門家を配置せよ

質問 工事に対する完成検査の委託料30万円の内容は。

答弁（管理課長） 規模の大きい建物は職員では検査できないので外部に依頼して検査を行うものであり、勝山中学校増設工事等である。

質問 富士五湖広域行政事務組合特別負担金は、何が特別なのか。

答弁（管理課長） 広域組合の消防費の予算は、市町村で68%を負担することになっているが、現状ではこの68%の負担金では賄っていないような特別な備の部分とか退職者の関係等を、別枠に特別負担金としている。

再質問 通常の負担金は徴収額が過大で戻り、特別負担金は不足で徴収されるような二重の手間をかけず、最初から全額を負担金として出すべきだと思うが、どうか。

答弁 このような複雑な計算をするよりも当初から予算計上することが望ましい。議員にも機会があったら要望してもらいたい。

所管全般

質問 町の監査委員は、議会から1人、一般から2人の合計3人で構成されているが、予算規模が100億円を超え、

年々行政事務が複雑化されているので、専門の税理士、公認会計士等を監査委員に導入するという考え方はないか。

答弁（町長） 財政状況も規模が大きくなっているので、指摘の趣旨は理解できるが、今後の検討課題としたい。

質問 ここ数年来、決算審査定例監査で議員報酬は全国類似町村と比べると低額であり、十分な議員活動を行うにはそれに見合う報償の支給が必要であるとの指摘があるが、報酬審議会で審議する考えはあるか。

答弁（町長） 審議することは別に問題ないと思うが、全国の動きとか、定数のことも絡んでくると感ずるわけで、適正・良識的な審議ができるように取り組んでいきたい。

平均議会議員報酬	(人口2万人以上の町村)
全 国	253,728円
富士河口湖町	157,000円



富士五湖消防

委員会 レポート

常任委員会の活動状況を報告します。

質問 地域活性化交付金の詳しい内容を聞く。

答弁（政策局長） 地域活性化交付金はふたつに分かれている。ひとつは、地域活性化・きめ細かな交付金、これは比較的使い勝手が良い自由度の高い交付金であり、当町には6595万7000円が内示されている。もう一つは住民生活に光をそそぐ交付金で、金額が1516万円である。

質問 町税の21年の滞納処分と滞納分の回収率を示せ。

答弁（税務課長） 11月現在、町民税の個人現年分が、滞納繰越分で15.93%、金額で1681万になっている。法人町民税の滞納繰越分は、12.74%、59万5976円になっている。固定資産税の滞納繰越分は、11.78%、6076万円となっている。

質問 本年度末も滞納処分も大分出ることが予想されるが、どのような形で対処するのか。

答弁（税務課長） 銀行の口座、土地財産等は百数

件と、去年の倍以上差し押さえている。12月から3月に向けてその整理を行う。差し押さえ予告を出している滞納者が相当数窓口に来ている。分納誓約書を書いてもらい、履行できなかった場合には滞納処分等の差し押さえを進める。

質問 今年度から政策局ができ、都市整備課と建設課が一緒になったが、今後、機構改革を進めるのか、現状のまましていくのか、方向性を示せ。

答弁（町長） 当面、新年度の機構改革については現況で進めたいと考える。

再質問 今年度末は課長職6人が退職し、一般職を合わせると14人の退職者がいる。重責を担っている課長が一度に辞めるという状況で、町政がうまく機能するのか我々議員も心配している。3月の定例議会には早目の人事異動を行い、新たな課長に予算を引き継ぎ、町政がスムーズに流れるよう希望する。そのような考え方があるか。

答弁（町長） 何とか新年度へ向けての考え方の整理を通常年よりは早く取りかかりたいと考える。



役場の窓口

住民の真意！

富士豊茂小学校の統合問題



小中学校適正配置説明会
上九一色地区

質問 富士豊茂小の統合問題について。教育委員会は、保護者が統合はやむをえない、という意見でまとまっているように言っているが、7月の住民説明会では、PTA会長から事実とちがうと出された。これについてどう考えるか。

答弁（教育長） 保護者の中には反対意見もあるが、同時に迷っている方、児童数の減少を不安に思っている方もいる。

質問 児童数の減少について。過疎地域自立促進計画が今議会で可決されたが、ここに、雇用を増やす、町営住宅の建設などの中身が入っている。まずは、児童数減少に歯止めをかける議論をすすめるべきではないか。

答弁（町長） 地域の活性化については町も模索中である。保護者のみなさんの意見をよく聞き、取り組んでいきたい。

質問 平成26年にインターハイが開催されるが、カヌー競技と漕艇競技に対して選手育成の考えを問う。

答弁（生涯学習課長） 山梨県ボート協会、カヌー協会と協議する中で底辺拡大に向けて対応を考えていきたい。

質問 トイレの洋式化が各学校で進んでいるか問う。

答弁（学校教育課長） 現在、各学校において最低限トイレに1つ、男女を含めて1つずつは洋式便所が設置されている。小立小学校は洋式のほうが多くなっており、船津小学校はトイレ改修でほとんどが洋式化されている。

質問 富士ヶ嶺地区のB&G財団より寄贈を受けた建物は大部分が修理や補修が必要と思われるが、今後も活用するのかが。

答弁（生涯学習課長） 町民や別荘の人も相当利用しているので、来年度の予算要求の中には提案し、これからの利用も考えている。

委員会 レポート

常任委員会の活動状況を報告します。

質問 小立保育所の入り口が県道に面し非常に危険である。今後の対応は。

答弁（福祉推進課長） 関係機関と協議して、入り口付近の土地を購入する方向で進めていきたい。

質問 富士山・河口湖音楽祭は来年で10周年を迎えるが、記念イベントとして地元出身のアーティストで企画できるか問う。

答弁（文化振興局長） 節目の音楽祭でもあり、地元のアーティストを集めて、開催したい。

質問 正式な会議で湖南中学の建設に反対だという声を聞いたかどうか問う。

答弁（町長） 反対だという声は聞いていない。資金的な問題を懸念している方が非常に多いと理解している。



小立保育所駐車場

クニマス発見に町の対応は

質問 クニマスが西湖で発見されたが、西湖地域住民の生活権、漁業権等はどう守っていくか。町の今後の対応は？

答弁（農林課長） 西湖漁業、周辺住民の生活を圧迫しない管理方法、保存方法を検討するべきだと考える。

ントをワーキンググループ等で検討している段階である。

質問 生活道路で、まだまだ穴、亀裂、縁石の破損等がある。道路整備の今後の計画は？

答弁（都市整備課長） 財政面で可能な限り積極的に取り組む。

質問 町内いたるところで雨水対策・冠水対策の要望があるが、現在の予算で何割対応できているのか？

質問 今冬季の除雪計画はどうなっているか？

答弁（都市整備課長） 今現在1500万円ほどは雨水対策事業として毎年計上している。これは住民要望に対し50%に満たない。今後の対応は、浸透井を多くつくり地下浸透させる方法を考えている。

答弁（都市整備課長） 採算面で除雪作業から撤退する業者が多いため、近隣市町村に合わせた予算で契約を行った。各地域担当業者に今全戸配布の図面を配布し、万全の態勢で臨む。

質問 河口湖漁協との懸案事項の冬花火中止要請の問題は？

答弁（町長） 町は冬花火中止の約束はしていない。しかし環境等の観点から、湖面の花火を上げた後の整備、花火を上げる内容等さまざまな工夫をしている。今後の課題として、花火にかわるイベ

質問 水道会計は、今非常に厳しい財政である。今後「日本一安くて美味しい水」の富士河口湖町は維持できるのか？

答弁（町長） それぞれの水道会計は窮地に立っているのが現状である。現実の財政をよく見定め方向性を出すべきである。料金改定に踏み切るべきだという意見もある。いろんな観点から水道ビジョンをまとめる中で検討していきたい。



さかなクンによるイラスト

委員会 レポート

常任委員会の活動状況を報告します。

質問 農振地域で市街化が進んでいても、農地から宅地転用ができず、土地の所有者が家を建てられないと聞くが。

答弁（農林課長） 農業振興地域に指定されている地域は、あくまでも農業で活動することという考え方。それを除外して宅地化あるいは雑種等にすることは農業委員会、県からは基本的には認められない。

質問 新倉トンネルは富士吉田側の掘削計画が進んでいないと聞くが、最新の情報は。

答弁（まちづくり管理監） 富士吉田市が平成25年を目標に事業をしているが、用地買収など課題があり何年か遅れるとの情報である。

質問 町道船津登山道線は、スラシアター方面からの右折がしにくく、渋滞の原因にもなっている。右折車があると直進ができないので、信号が変わると右折車が急発進し、事故也多発している。右折レーンの確保と歩道橋設置は。

答弁（都市整備課長） スロープの歩道橋を希望

しているが、国土交通省から階段だけの歩道橋はすぐ設置できる事を自治会に説明済み。地域の了解が得れば計画を進めるとのこと。

また、右折レーン確保は、両側の飲食店が、買収に応じていただけられるかどうかで計画を進めていきたい。

質問 日刊マラソンを走った方が、沿道の応援が少なくて残念と感想があった。自治会に旗を配布して地域の人たちに応援に出てもらうなどの工夫を要望する。

答弁（観光課長） スタート時点は相当大勢の方がいるが、ポイントにおいては少ない場所もある。地元の住民の人たちにも声をかけていきたい。

質問 いやしの里の雰囲気合う地産地消を基本にした田舎のおばちゃんやお母さんが作った料理を出す事を検討して欲しい。安くておいしい定食はいやしの里の集客にもつながり地域の活性化にもなる。

答弁（観光課長） 基本的には地域の特産品をつくってこういう考え方がある。地域の検討委員会でも、地域の特性を生かせるものを検討している。



質問 県道137号線は県道から町道に格下げになる時、県が整備すると聞いている。途中まで下水道工事が完了しているので、無駄がでないよう県が整備する前に、町が残りの事業を完了せよ。

答弁（水道課長） 山梨県と早目に連携をとり、工事の時期等打ち合わせして、下水道工事を進めたい。

雨水対策（小立西区）

小さな地域活動



私の日課で地域を散策しています。歩いてみると地域の人々と出会い、挨拶を交わし、コミュニケーションを豊かにする場となつてゆきました。

日々、地域の人々との何気ない会話の中で考えさせられること、また感動することがたくさんありました。

このような出会いが小さな地域活動ではないかと思ひ、最初のスタートとなりました。住民のために安全で安心できる地域づくりを進める民生委員児童委員が地域福祉活動に役立ち、そして「住民参加」「住民の立場に立つ」という視点が大切であると思ひます。

これからも地域の福祉活動を進め、地域住民の立場に立つて相談に応じ、援助し、地域の中で支援を必要としている人方を行政に的確につないでいくことが重要であると考え

朝比奈 一正 (西湖)

ます。

民生委員児童委員活動は、小さな地域活動から始まり、そして地域の皆様の協力から成り立つものだと思います。

住民の皆様のご協力をお願いいたします。



福祉運動会

議会見・聞・録

町民の声が活かされた 大小様々な地域の課題と克服

議会を傍聴して、個々の議員の政治姿勢やきめ細やかな取り組み、また、実現性に向けた議論の場から、役割の重要性と緊張感が伝わってきました。

同時に最新の町の実情を知る事ができる場所であると改めて感じました。議会傍聴は気軽に政治参画できる場所であり、多くの方が傍聴されると良いと思ひます。

(大石 堀内)



成人式

議会を傍聴しませんか 次の定例会は3月です。

どなたでも傍聴できます。議場入口で受付を済ませ傍聴してください。入口には注意事項が掲示されています。

編集後記

インフルエンザがいよいよ流行期になりました。体調には十分にご留意下さい。

さて、編集委員7名が日夜努力し、活発な意見集約が出来上がりました。ご一読されたご意見、ご要望を議会事務局までお知らせください。

今後ともよりよい議会広報をお届けできるよう努力いたします。